



# 令和6年度 市川中学校3学年 グランドデザイン



## 学年経営目標

自他の成長の可能性を信じ、進路実現に向かって主体的に取り組む生徒・集団の育成

### 今年度の重点

#### 確かな学力の育成

- 学習意欲を高めるための授業の工夫  
対話のある授業を計画的に実施し、生徒一人ひとりの活動のある場を授業をめざす。
- 自主学習の取り組み  
家庭学習の習慣化をはかるとともに、知識の定着を意識した方法を指導する。
- テストの取り組み  
入試において見通しを持って、計画的に取り組むことができるよう指導を工夫する。
- 進路学習  
卒業後の進路について、主体的に取り組めるよう情報提供を適切に行い、自己理解に基づいた進路選択ができるよう支援する。

#### 豊かな心の育成

- 一人ひとり敬愛しあえる集団づくり  
・学級、学年、全校の活動を通して、一人ひとりが役割を担い、集団に参画する機会を増やし、仲間、後輩の良さを認め合い、高めあえるよう指導する。
- 新しいことへの挑戦  
・今までの取り組みを土台にして、全校の活動に貢献できる最上級生を目指すよう指導する。
- 人権教育を基調とした活動  
・学年職員全員で道徳の授業を行い、多様な考えに触れる。

#### 健康・安全

- 自立した生活に向けた指導  
優先させるべき事項を明確にして、時間管理の意識を持って生活するよう指導し、生活にメリハリを持たせる。
- 体調管理、適切な感染症対策  
体調の自己管理の力を身につけ、入試などに対応できる力を身につける。
- 情報リテラシー学習  
機会を設け、ネット社会やSNSの特色、適切な活用を学ぶ。

#### 地域との連携

- 情報発信、保護者との連携  
学級通信、学年通信を発行し、学校の様子を発信する。個々のよりよい成長のために、保護者と連携し学校の様子を伝える機会を多く持つ。
- 地域参画  
地域の一員として、社会参画を促す指導をする。
- 進路指導  
保護者と連携して情報を共有し、丁寧な進路指導を行う。

### 今年度の重点取組及び分掌

- ・授業形態を工夫し、意見交流ができる場面を設ける。(全)
- ・生徒のつぶやきをひろう授業を心がける。(全)
- ・タブレットを活用した授業の工夫・改善を提案する。(塩島)
- ・自主学習を通して、生徒の学習状況を確認する。(全)
- ・入試対策問題集を活用した基礎学力向上の取り組みを行う。(各教科・全)
- ・進路情報を日常的に掲示する。(清水)
- ・進路実現に向けた放課後学習会を実施し、知識の定着を図る。(清水)

- ・学級を一人一役を基本とした、係・当番活動を工夫する。(松野・塩澤)
- ・自分の良さを見つけ、進路選択に活かす活動を行う。(松野・塩澤)
- ・行事などを通して、お互いの良いところを認め合い、素直に気持ちを表現する活動を行う。(塩澤)
- ・生徒自身が作りあげる生徒会活動を行う。(松野)
- ・二者懇談、生活記録ノートを活用して生徒との対話を行い、生徒理解を深める。(松野・塩澤)
- ・他者理解を深め、それぞれの個性を認め合えるよう、インクルーシブ教育を進める。(塩澤)
- ・関係機関と連携し、生徒のよりよい成長を多くの人で支えるとともに、卒業後の支援につなげる。(清水)

- ・学校生活上の優先事項を明確にする。(松野・塩澤)
- ・教室環境の整備を行う。(松野・塩澤)
- ・体調の自己管理や感染予防を意識した生活を送るための方策を指導する。(塩澤)
- ・情報リテラシーについて取り上げる道徳授業を実施する。(清水)
- ・タブレットの活用法を考え提案し、試行する。(塩島)

- ・学年、学年通信を発行し、学年の様子や予定を保護者に伝える。(松野・塩澤・清水)
- ・思春期体験学習を通して、生命について考える機会とする。(清水)
- ・ボランティア活動、防災訓練などを通して、地域とのつながりを考える。(塩澤)
- ・積極的に保護者と連携し、丁寧な進路指導を行う。(松野・塩澤)
- ・保護者対象進路説明会を行う。(塩島)